

第 10 話 “日航”墜落寸前

自民党政権から民主党政権に代わり、長きに渡る悪さのツケが回ってきた。

自民党の先生方、『俺が県にも国際空港を。国際港を。』と 50 年に渡り私利私欲の為に地盤への利益誘導型政策を続けてきたのである。私は福岡のひびき灘開発プロジェクトのオブザーバーとして参加していたことがあったが、完成まで 10 年を費やし、時既に遅しで釜山、上海の後塵を拝するところとなった。『俺が県に国際ハブ港を…』という掛け声に負けて、東京港・横浜港・名古屋港・四日市港・大阪港・神戸港のスーパー中枢港湾といわれるものだけでも多いのに、アジアのハブ港という名目で福岡を整備したのである。

空港に目を向ければ同様に、『俺が県にも…』と全国で作ってきた。例えば福島空港などは、県民すら首を傾げるものなのである。最近でも静岡空港というのが完成したのは皆さんの記憶にも新しいと思うが、年関係費 6 億円は黙っていても出費となる。マイナスは県民の税金で賄うことになり、静岡県民の大きな負担となるだろう。日航も静岡空港への路線は廃止する。この空港は位置的にも絶対に成功しない。

親方日の丸だった当事の日航は、ローカル空港が完成すれば、自民党の先生方の肝入りで客が有ろうが無かろうが飛ばしてきた。空港の開発計画は嘘の乗客数をカウントして予算を付け、あたかも儲かるという嘘の報告書を書いて県民を騙していたのだ。日航は詐欺に遭ったと言ってもよいほどである。それも一つや二つではない。

お隣の韓国では、前大統領が在任中の不正を暴かれ、刑に処せられることがしばしばあるが、中国でも同様に国家反逆罪というのがある。私から言わせて貰えば、嘘をついて空港や港を作り、日航を騙して飛ばさせた当事の県知事や地元の政治家は連座して刑に処されても仕方が無いと思う。

墜落寸前の日航であるが、いつそのこと一度墜落(倒産)させて、ゼロからの仕切り直しが宜しいと思う。米国の GM にも年金問題と高額な給与の問題があったが、オバマは一旦破産する連邦破産法第 11 条 (チャプターイレブンと言って日本での会社更生法に相当) という手段を取った。国民の税金で一企業を救済するのであれば、そのくらいの荒療治は当然なのである。